



©宮城県・旭プロダクション



# セーフティ123通信

発行：宮城県・みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会

「セーフティ123通信」は、交通安全キャンペーン  
「セーフティ123」の参加者を応援する情報誌です。

宮城県内を走るドライバーのみなさん！安全運転してますか？

## 事故事例から学ぶ安全運転 テーマ 「運転中は適度な緊張感を」

### 【事故概要】

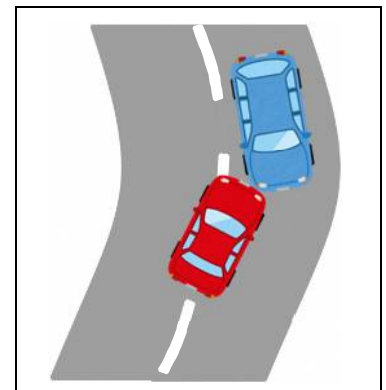
道路を走っていた車が対向車線にはみ出して、対向車線を走ってきた車と衝突した事故。

### ドライバー語録

「クラクションの音が聞こえ、はっとして気がついたら目の前に対向車が・・・」

「外は暑いし、エアコンで車の中が良い具合に冷えていたので、ボーッとしながら運転していました。」

「見通しのいい道路なのに、対向車が来ていることに全く気が付きませんでした。」



## 夏場は「車線はみ出しによる事故」が多発傾向！

夏場は、車線はみ出しによる正面衝突や路外逸脱、工作物衝突などの交通事故が増加する傾向にあります。これらの交通事故の主な原因は、漫然運転や脇見運転などの前方不注意によるものです。

県内では昨年7月中に発生した4件の死亡事故のうち3件が工作物衝突、1件が正面衝突の事故でした。

道路形状に変化が少ない道路では、見通しの良さなどから、スピードを出したり、脇見運転をしたりして注意力が散漫となりがちです。

また、カーブの手前では十分にスピードを落とし、前方を確認して、常に危険を予測しながら交通状況の変化に応じた運転に努めましょう。



## 疲労等から「居眠り運転によるはみ出し事故」も！

これからの季節は、暑さが心身への負担や疲労へと繋がり、普段の運転に大きく影響を及ぼす場合があります。

特に暑い日の運転は、窓を閉め切り、エアコンの心地よい温度と疲労感などが重なると「居眠り運転」に陥りやすくなります。

自らが交通事故の原因とならないためにも夏場の運転は「適度な緊張感をもったゆとりのある運転」を心掛け、運転中に眠気を感じたら、無理に運転を継続せず、早めに休憩を取りましょう。

## セーフティ123キャンペーンについて

セーフティ123キャンペーンの募集期間は6月14日で終了しました。  
たくさんの方のご応募ありがとうございました。

●セーフティ123キャンペーンの実施期間は6月15日から始まっています。

皆さん、10月15日までの123日間、無事故・無違反の達成を目指して  
安全運転を心がけましょう。

【SDカード見本】

●実施期間終了後、1年以上の無事故・無違反を達成された方には、  
「SDカード」が送付されます。

SDカード優遇店で提示すると割引や優遇特典などを受けることが  
できます。

●SDカード優遇店の詳細は「自動車安全運転センターホームページ  
SDカード優遇店検索」に掲載されております。

◎SDカードについてのお問い合わせ◎

自動車安全運転センター宮城県事務所

ご連絡先：022（373）7171



|                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>企業団体様からの協賛金（10万円、10万円以上）又は提供品を受け付けて<br/>おります。</p> <p>なお、協賛金50万円以上は、「特別協賛企業・団体」とさせていただ<br/>いております。</p> <p>協賛金等は、無事故無違反を達成したチームに贈呈される商品の購入に活<br/>用させていただいております。</p> <p>協賛企業団体名は、県公式ウェブサイトやセーフティ123キャンペーン<br/>パンフレットなどに掲載して広くお知らせします。</p> |
| <p>協賛金<br/>お振り込み先</p>                                                              | <p>◆口座名義：みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会</p> <p>◆口座番号：七十七銀行県庁支店 普通 9045881</p>                                                                                                                                                                    |

## 二輪車の安全利用について

宮城県では昨年7月、二輪車の死亡事故が3件発生しています。

二輪車は、体で安定を保ちながら走り、停止すれば安定を失うため、  
車とは違った運転技術を必要とします。

また、二輪車の動きが車から見えにくいことがあるため、周りの交通  
の動きに注意しましょう。

二輪車の死亡事故では死者の過半数が頭部又は胸部を負傷しています。

ヘルメットを着用していてもヘルメットの性能や着用方法が不適切だ  
と、事故の際にヘルメットが外れて死亡事故につながるおそれがありま  
す。

運転者・同乗者の方は安全規格PS（c）マークかJISマークが付い  
たヘルメットを使用し、あごひもをしっかりと締めるなど正しく着用し  
ましょう。

また、高速道路の交通事故では、プロテクターを着用していない時の  
致死率が着用していない時と比べて約1.7倍になるというデータもあ  
ります。

二輪車の運転時は、体の露出が少ない服装をし、できるだけ胸部プロ  
テクター等を着用しましょう。



【安全規格】

